

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 6月 15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674200060
法人名	社会福祉法人伸志会
事業所名	グループホームのぞみ
所在地	鹿児島県薩摩川内市祁答院町藺牟田2103-6 (電話) 0669-31-8101
自己評価作成日	平成26年6月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年7月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・近くにはいむた池のある緑豊かな自然環境の中にあり、温泉に入り、毎日をゆったりのおんびりと心と体を癒しながらの暮らしである。同敷地内にクリニック、隣接して同法人の特別養護老人ホーム、認知症通所等もあり医療福祉の連携を取り安心して生活できるようにしている。

・家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりのペースを大切に生活を送りながらも、入居者様の持てる力を引き出し、家事等をスタッフと一緒にやっている。

・行事食(おせち料理・節分・ひな祭り・ちまき・お盆料理等)や保存食(梅干・梅酒・らっきょう漬・干し大根等)を作ることで季節を感じていただきながら、様々な生活の知恵を教えていただいている。

・外出の機会を1回でも増やせるように、毎週火曜日にクッキングデイを設け、交替で買い物に行ったり、その他季節の花を見に行ったり、森林浴、お茶飲みに行く等の機会を作っている。

・誤嚥予防として、毎食前には嚥下体操を行い、食後には口腔ケアをその方に応じてモアブラシ使用し舌磨きを行うなど口腔内の清潔に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設10年目を迎えた当ホームの辺りには緑豊かな山々が広がり、田畑が望めるのどかな場所に位置し、敷地内には協力医療機関のクリニックも併設されている。隣接して系列の特別養護老人ホームもあることから、重度化や終末期における中間的な位置づけのホームであることを入所時に家族に説明し、同意も得られており、利用者の身体状況に応じた段階的な対応は家族の安心にも繋がっている。

特に、排泄の自立に向けた支援には力を入れており、現在、オムツ利用の利用者はおらず、全員が布パンツの利用であることから、職員間での個々の排泄パターンの把握と適時の声掛けが功を奏している。家族の経費軽減にも大いに貢献しており、現状維持に努め、職員一丸となって、利用者が自信を取り戻し尊厳を重んじるケアへの取り組みを更に高めている。

毎週火曜日は「クッキングデイ」と銘打って、利用者から食事内容のリクエストをもらい、メニューに添った食材の買い出しにも交代制で出掛けるなどし、外出を兼ねて食材選びなどの楽しみを見出す工夫もしている。

午前と午後にリハビリを兼ねた余暇活動も利用者の楽しみとなっており、利用者にとって、心地よいBGMが流れる中、囲碁を楽しんだり、季節に応じた折り紙などをしたりして、我が家の居間で過ごすように、ゆったりと安心して暮らせるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念をリビング等にかかげスタッフ一同共有し、実践につなげている。キャッチフレーズもみんなで考え、一年間の実践につなげるようにしている。	基本理念とは別に、毎年職員からの公募でその年のキャッチフレーズを決めている。利用者や家族の気持ちを大事に考えた内容であり、職員全員の思いが込められた身近な理念としてケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	特養の行事への参加、月一回のボランティアの受け入れ、保育園児との交流がある。クリニックの受診時や地域の方との交流はあるが、地域の一員としての交流はない。	系列の特別養護老人ホームでの行事参加が主であるが、近隣の幼稚園児が七夕飾りの作成に訪れたり、中学生の職場体験、毎月のボランティアの受け入れなど地域との関わりを積極的に持つ努力をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	実習生、体験学習の受け入れを行い、認知症の理解や支援方法を説明している。地域の方々への地域貢献はできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回運営推進会議を行い、行事や入居者様の情報を報告したり、色々な意見をいただき、サービスの向上に努めている。	議題はその都度決めている。利用者の現状報告や行事案内など固定の家族代表、地域代表や行政などの参加があり、第三者の目で意見やアイデアを見出す会議になるように努めている。参加者や内容がマンネリ化の傾向にあり、今後は行事と抱き合わせるなどして、地域に開けたホームとしての取り組みを強化していく方針である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に市町村担当者が参加して下さるので、その時に実情等を伝え、意見をいただいている。電話等でも相談ののって下さっている。	市町村担当者も運営推進会議のメンバーであり、ホームの実情の把握や相談事などへの対処はスムーズで、双方で情報の共有もできており、良好な関係性である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃から身体拘束についての話をし、日常行っているケアが身体拘束にならないよう心がけている。玄関等の施錠は必ず呼び鈴をつけている。やむを得ない場合は家族に同意を得ている。	日頃から、身体拘束に関する研修も行い、特に運営者や管理者は日常の言葉による拘束の弊害を重んじた教育をしている。玄関の施錠は日中はせず、常に職員の見守りや連携で穏やかに暮らせるような支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケア会議や研修など虐待防止の勉強を行っており、そのような事がないように気をつけている。言葉使いについて日頃から重視し、スタッフ同士でも注意し合えるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学び理解に努めている。活用の支援を行ったことはない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の際、契約に関する説明をしている。改定時には説明の場を設け、理解、納得していただけるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年1回の家族会、また面会時に意見や要望を聞いている。面会簿に意見感想を記入する欄を設けているので、記して下さっている。利用者様には、居室や入浴中など、ゆっくり話しができる時に要望等聞くようにしている。</p>	<p>ホーム独自で、家族へのアンケートを実施している他、家族会や面会時の意見や要望の聞き取りや話し合いの機会を大事にしている。記念に残る誕生日になるようにホーム側から家族への協力の呼び掛けや、家族から利用者の日常生活での過ごし方への希望など、双方で活発な意見交換が行われ、サービスの質の向上に繋がっている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の職員会議、ケア会議、また個別の面談等で意見や提案をする機会はある。日常的に相談することもある。反映されることもあるが、難しいこともある。</p>	<p>利用者全員の情報を職員間で共有しており、都度のケア会議で現場の気付きやアイデアを出し合い、改善策などの話し合いをしてケアの向上に繋げるように努めている。今年から、施設長に依る職員の面談も開始され、メンタル面の不安解消や要望などの聞き取りもなされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業環境の整備について、職員の声に耳を傾け、環境整備や条件の改善に努力して下さっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修や法人外の研修を受ける機会がある。法人外の研修は全職員に受ける機会があるように交替で参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修に行った時に他の事業所の方と話したり、発表等を聞き交流している。訪問活動等も勉強になるが、実現は難しい面もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居初期は特にコミュニケーションを多くとり、本人の不安や困っていることを聞き出し、早くGHに慣れていただく様支援している。要望や不安に対して安心されるような声かけ、関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や電話で話をし、出来る限り、家族の方の不安や要望を聞きだせるように努力して、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族や本人の話の中で、まず一番どんなことに困っているかを話し合い対応している。必要とされている支援をしつつ、状況の変化にも気を配りながら支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔の暮らしぶりを聞いたり、行事食等の作り方を教えていただいたりしている。また、調理や掃除を一緒に行う。時には五目並べ、箱折りなどを行い、共に過ごし支え合う関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状態などを家族に伝え相談しながら共に支えていく関係を築いている。行事への参加をお願いしながら、家族の絆を大切に支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人等が逢いに来て下さるような場所にし、クリニック等で逢われる馴染みの人との関係継続に努めている。面会によく来て下さるが、自宅へ「帰りたい」と言われてもなかなか難しい方もいらっしゃる。	敷地内のクリニックが、地元の馴染みの人達との触れ合いの場にもなっている。地域資源の活用で、地元美容を利用したり、家族支援による墓参りや節目で自宅に帰る利用者もいる。入居前から懇意にしている知り合いの来訪の機会もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室にいらっしゃる方には、体操やレク等の声かけをし、他の利用者様と交流ができるように支援している。利用者様同士の関係を把握し、トラブルが起きないように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特養に入所された方とは時に会う機会があり、お話はさせてもらっているが、相談や支援はできていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	どのように暮らしたいか希望、要望を聞いてプランを作成しているが、それ以外でも日常的に会話の中などで把握に努めている。ケア会議で本人本位に検討している。	2ユニット間で介護度の違いはあるが、意思の表示のできる利用者が多い。難しい利用者に対しては食事や排泄など生活のリズムが滞らないように、表情や所作の読みとりを職員間で連携している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント表などで、一人ひとりの生活歴や生活環境にサービス利用の経過等を把握している。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり生活環境が違うので、本人の暮らしやすい環境作りに努めている。眠たい人、何もしないで部屋にいたい人、テレビを観たい人。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族には、困っていることなどを聞き、ケア会議などで一人ひとりに合ったケアをスタッフで話し合い、介護計画を作成している。	日々の関わりの中で、利用者や家族の思いや希望を把握すると共に、モニタリングを経て、介護計画に反映させている。身体的なことや、趣味趣向を取り入れ出来る事を組み込んで個別性のある計画になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に一日の様子を記入し、ケアの実践もチェックしている。申し送り帳、連絡帳を記入、活用し、職員間で情報を共有し、意見を出し合いながらプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人を支えるために不足した物の購入は、本人や家族に相談し、その都度購入するなど支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月1回のボランティアさんの訪問を受け入れることによって、踊りや唄、折り紙製作等、本人の力を出し楽しめる事を支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に協力医療機関へ変更できる方はしていただき、適切な医療を受けられるよう支援している。月2回の定期受診や熱発等早期受診を行い、早期の治療ができています。	入所時に殆どの利用者が敷地内の協力医への切り替えを同意している。歯科受診や他科受診に関しては家族の支援になっており、受診結果については双方で情報を共有しており、日常的な健康管理は適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員がいないが、かかりつけ医の看護師や特養の看護師に相談し、助言をもらっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	同系列の医療機関があり、安心して治療や入院が出来るように連携をとっている。病院との情報交換や相談もでき、早期退院できるように努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期におけるケアは行っていない。重度化した場合のあり方については、入居時に家族に事業所の方針を説明している。その時になったら、本人、家族と話し合い、他施設との連携を取り支援している。	入所時に終末期に於ける、ホームの方針は重要事項説明書の中で家族に説明、同意を得ている。最終的には段階を経て、医療機関や系列の特別養護老人ホームへの移行へ繋げる連携体制が採れていることを家族も理解している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的には行っていないが、研修やDr勉強会などで勉強しているが実践力が身につけているのかは心配である。AED講習会も受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は年2回、通報訓練は毎月行っているが、地震や水害の避難訓練を行っていない。</p>	<p>災害時に消防署との連携をスムーズに図れるように、通報訓練を毎月行っている。近隣に住む家族や、地域の消防団員、系列の施設の職員等の参加を得て、夜間想定訓練も行っており、今後は地域の協力体制の再構築や地震・水害での訓練も計画していく意向である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	失禁等があったらプライバシーに気をつけ、居室やトイレ等で周りに気づかれないように着替えていただいている。人格を尊重した言葉かけを行うようにしている。	職員は日頃より、声のかけ方や言葉遣いに気を配り、特に羞恥心への対応には目立たずさりげない接し方で、利用者個々の尊厳やプライバシーへの配慮に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時間や服選び、好きなレク等日常生活の中で自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り本人のペースを大切にし無理な声かけは行わず、その方のペースで過ごされる様支援しているが、時々スタッフの都合やマニュアルを優先してしまう時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	化粧や髭剃りなど身だしなみの支援をしたり、外出の時にはいつもと違うおしゃれができるように支援している。散髪は移動散髪車により定期的に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜切りや配膳、食器洗い等できる力を十分に引き出し利用者様とスタッフが一緒に準備から片付けまで行っている。	保存食作りや行事食など、季節に応じた旬の食材で、利用者はホームの中で残存機能をフルに活用して調理や、後片付けなどの手伝いをし、食に関連した楽しみも得ている。目先を替えて近隣のファミリーレストランでのお茶会をすることも、利用者の楽しみの一つである。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は管理栄養士の指示のもとバランスの良い食事を提供している。食べられる量、好き嫌いへの対応（別の物へ変更）も行っている。食事摂取量、水分量も記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアは必ず行っている。一人ひとりの力に応じて見守り介助にてケアをしている。夜間は洗浄剤にて清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間をみてトイレの声かけ、誘導を行ったり、ズボン下げの介助をすることで失敗や失禁を減らせるよう支援している。排泄チェック表に記録し排泄のパターンの把握や排便管理ができている。	職員間での個々の排泄パターンの把握や適時の声掛けに依る効果で、オムツ使用の利用者はおらず、一部介助などでトイレでの自立排泄での支援が出来ている。今後も家族の経費軽減や、状態の現状維持に努めて行く方針である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に朝は牛乳、10時にはヨーグルトを提供している。食物繊維や水分を取ってもらい、それでも排便が無いときには服薬にて調整している方もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴される方、一日おきの方、一人ひとりの希望を聞いて入浴していただいている。時間も午前、午後と選んで決められている。会議や行事の時には職員の都合に合わせていただいている。	ホームに居ながらして、温泉浴を楽しめる豊かな環境にある。身体状況や個々の希望に添って毎日や午前・午後など希望の時間帯での入浴支援など、柔軟な対応の中、利用者はゆったりと温泉浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間も好きな時間に部屋で休息され、夜間も一人ひとりの生活習慣を大切に好きな時間に休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的や副作用をまとめた表を作っているが全てを理解してはいない。症状の変化や薬の変更時は説明書で確認をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	五目並べや塗り絵、入浴、散歩など楽しみや気分転換を見つけ出して支援している。黒砂糖やあめなど好きな物を食べていただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な外出の支援はできていないが、クッキングデー（週1回）の買い物や散歩、特養の行事等の参加で支援している。また、外出デイを設け外出の機会を考えている。（桜の花見、森林浴、お茶飲みなど）	年間行事計画に沿った初詣や花見などの他、日常ではホーム周辺の散歩や、週1回の「クッキングデイ」を設け、利用者が交代で外出できる機会を設けている。家族の支援も受けながら外食やドライブに行くなど、折をみては短時間でも外出の機会を多く持てるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの力に応じて御自分で管理している方もいらっしゃるが、管理が難しい方は預かっており使用時は本人に支払っていただいている。お茶飲みに出掛けた時はお金を使う機会としている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は要望があればいつでも掛けていただいている。また、贈り物が届いた時には電話をして届いた事を伝えられるようにしている。年賀状と暑中見舞いは家族に出している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やリビングには季節の花を生けたり折り紙等で壁面飾りをして、生活感や季節感を取り入れている。室温や湿度に気配りし居心地よく過ごせる環境づくりをしている。</p>	<p>ガラス越しに庭に植えられた季節の花々が利用者や訪問者の目を楽しませている。自由に気兼ねなく座れるソファが多く設置されており、七夕飾りやテレビ鑑賞など利用者は各々、好きな時間をゆったりと楽しめる共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室にて昼寝やテレビを見たりと独りになられたり、また、広間ではソファで過ごされ利用者様同士で会話やテレビ観賞され思い思いに過ごされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたベットやダンスなど持ち込まれ、使用されたりご家族の写真を飾られたりと居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	<p>全室が畳仕様になっており落ち着いた着きのある居室である。テレビや馴染みのある箆箆を持ち込み家族の写真を飾るなどし、自宅の一室の様に安心して過ごせる工夫がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下や居室、風呂場、トイレには手すりを設置し安全な環境づくりをし、場所が分かるように居室入り口には名札を貼り、トイレは矢印にて方向を示したりしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない